

者は非常に土地特に気象条件をえらびます。

現在のところこの両者とも、それぞれその特性を利用して増殖されつつあります。

北海道では、二十世紀は無理でしよう。

長十郎は道南渡島地方では、府県産のものに比較して何等劣るところの無い、むしろ貯蔵力の大きい、立派な梨がとれます。

併し他の地方は、自家用ならば良いが販売用には不向きです。

長十郎よりは、新しいところでは新世紀等の方がよいでしょう。

一般に北海道のような寒い地帯では、千両（身不知）、北海早生等の方が作りやすく耐寒力も有り、販売用、自家用共におすすめいたします。

なお明年秋には、北海道農試の耐寒力の強い育成品種を販売する予定です。

次に各品種について簡単に御説明申し上げます。

◇和 梨

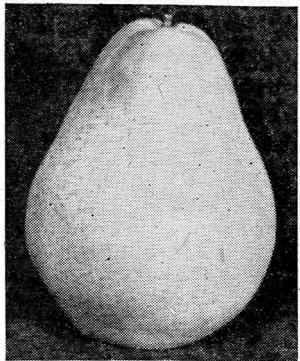
新世紀

本種は、昭和初年石川頼治氏に依り二十世紀

×長十郎の組合せから選抜育成され、昭和二十一年新世紀と名付けられたものです。

樹勢極めて旺盛、花芽はつき易く、また結果状況も大変良い。果実は大きくて、玉搾りも良く増殖してもよいでしょう。

和梨にはいると種類があり、更に最近では新しく育成された品種も次々と出て来ております。現在わが国における代表品種は赤梨においては長十郎、青梨においては二十世紀です。前者は大衆品種、後者は高級品種、又前者は余り土地を選ばず、後



千両（身不知）

☆梨について

梨には、洋梨と和梨の二つの種類があります。わが国における栽培では、和梨が大抵です。

洋梨は、現在加工原料として、山形県においてペートレットが大規模に作られています。以外北海道で僅か作られている位です。併し本種の持つ特有の香と味が一般に理解されてくれば、将来大いに有望でしょう。

北海道等では、もつともつとこの優秀な洋梨を生産すべきではないでしょうか、特に罐詰原料としては、和梨の速く及ぶべきものでは無いのですから、その方面への進出を考えても良いでしょう。更に寒い地方では長十郎等の日本梨よりも品質良く味も良いのですから、北海道の中部等では、更に増殖してもよいでしょう。

和梨にはいると種類があり、更に最近では新しく育成された品種も次々と出て来ております。現在わが国における代表品種は赤梨においては長十郎、青梨においては二十世紀です。前者は大衆品種、後者は高級品種、又前者は余り土地を選ばず、後

溉の可能な土地を選定する必要が有ります。

雲井

本種は、興津園芸試験場において尾浦博士に成されたもので、樹勢強く、花着きも良い。果実は七〇~八〇匁位で形は円く玉搾良く、果皮は褐色です。熟期は石井早生より一~三日早く品種は中の上位、この品種は早生の大衆向さ品質は中位、この品種は早生の大衆向さ品質として将来性が有ります。

おいては大変親しまれており、都市の家庭園の中にも大いにとり入れられ、北方の寒い地方でも自家用として収穫を楽しむ事が出来ます。

明治二十六、七年頃、神奈川県当麻長十郎氏に依り育成紹介された品種で、きわめて作り易く、また味も一般受けするところから急速に増え一時日本梨の約六割を本種で占めました。現在では二十世紀に押されがちですが、併し無袋栽培は可能で有袋の物に比較して遙かに味が良い今後無袋栽培が取上げられるにつれて今一度

この梨の利用も考えられてくるでしょう。特に北海道の渡島地方で産出されるものは、大果での有る円形または卵円形、果皮は平滑淡黄緑色、果肉は少し黄色味を帯び柔軟多汁、甘味はかなり強い優良種です。

赤穂×二十世紀の交雑実生より育成された品種で、早生の青梨として代表的品種です。果実の大きさは中位五十匁内外で、果形はやや長味

の有る円形または卵円形、果皮は平滑淡黄緑色、果肉は少しおいしい味を帯び柔軟多汁、甘味はかな

り強い優良種です。

本種の欠点は樹勢弱く、玉太りの悪いため反

当収量がすくないので、表土の深い肥沃地に栽培すると共に、結実を制限し葉を多くする事並びに収穫後追肥を十分行うことが必要です。

本種は、昭和初年石川頼治氏に依り二十世紀

×長十郎の組合せから選抜育成され、昭和二十一年新世紀と名付けられたものです。

樹勢強健、耐寒性強いため、北海道においては、各地で栽培されております。

果実は円形、果皮は黄緑色で平滑、果肉は漿液多く水分に富む。病虫害強く栽培容易で、豊

産ですが日持ちは余り良くないようです。

本種は、昭和初年石川頼治氏に依り二十世紀

×長十郎の組合せから選抜育成され、昭和二十一年新世紀と名付けられたものです。

一名身不知、前者より晚生で、形は洋梨に似て大果、大きいものは一二百三、四十匁位になります。樹勢も良好で、果実は大きくて、玉搾りも良くあります。樹勢も良好で、果皮は黄緑色で平滑、果肉は漿液多く水分に富む。病虫害強く栽培容易で、豊

産ですが日持ちは余り良くないようです。

樹勢極めて旺盛、花芽はつき易く、また結果

状況も大変良い。果実は大きくて、玉搾りも良くあります。樹勢も良好で、果皮は黄緑色で平滑、果肉は漿液多く水分に富む。病虫害強く栽培容易で、豊

産ですが日持ちは余り良くないようです。

名が生まれたという事です。このため余市方面で「身不知」という名が生まれたといふ事です。

身不知は、長十郎に代つて本種をと望んでおります。

また道中央部空知方面でも最近試作の結果から

長十郎よりも作り易いといふところから増殖を

見つつあります。但し余り乾かない地方とか灌

長十郎

明治二十六、七年頃、神奈川県当麻長十郎氏に依り育成紹介された品種で、きわめて作り易く、また味も一般受けするところから急速に増え一時日本梨の約六割を本種で占めました。現在では二十世紀に押されがちですが、併し無袋栽培は可能で有袋の物に比較して遙かに味が良い今後無袋栽培が取上げられるにつれて今一度

この梨の利用も考えられてくるでしょう。特に北海道の渡島地方で産出されるものは、大果で食味も良く、特に府県産のものに比し貯蔵力に富んでいます。翌年の一月頃まで食用に供され七飯梨として市場で好評を博しております。

北海道では、札幌以北では、形も小さく食味も余り良くないので自家用以外は無理でしよう。

栽培は可能で有袋の物に比較して遙かに味が良い今後無袋栽培が取上げられるにつれて今一度

この梨の利用も考えられてくるでしょう。特に北海道の渡島地方で産出されるものは、大果で食味も良く、特に府県産のものに比し貯蔵力に富んでいます。翌年の一月頃まで食用に供され七飯梨として市場で好評を博しております。

北海道では、札幌以北では、形も小さく食味も余り良くないので自家用以外は無理でしよう。

いと思ひます。北海道では耐寒力無く栽培は無理でしよう。

洋 梨

梨

ブランデーワイン

果実は、余り大きさは有りませんが、大変味の良い梨です。この味は一度口にした方は忘れることはないでしょう。札幌における収穫期は九月中旬頃です。収穫後二週間位で、食用適期になります。

パートレット

最も一般に普及している洋梨で、日本における洋梨の大部分は本種です。食味も良く、樹勢も強く、豊産で、札幌附近における収穫期は九月中旬です。本種は生食用の他加工原料として最適のもので、将来加工業の発達と共に大いに利用されるべきもので、将来増殖されて良いものであります。最近アメリカで本種の枝変わりで果面が赤く着色する「レッドパートレット」が発見され、わが国にも入り試作の段階に入っています。弊社でも本秋より苗木の販売をいたします。余り数量が有りませんので、ご希望の方は至急ご発註下さい。

日 面 紅

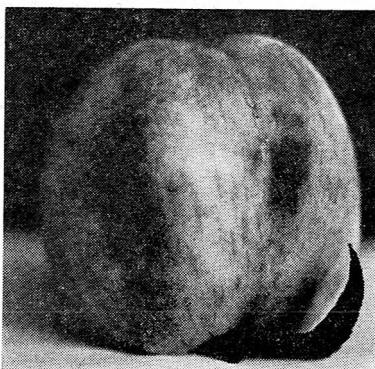
原名フレミッシュビューテーといわれ、北海道における洋梨の主要品種です。果形頗る大きく樹勢も旺盛、更に耐寒力にすぐれ、胴枯病に抵抗力強く免疫性であるともいわれております。

果面は光沢有り、黄色で更に陽光面が赤褐色を呈するところから日面紅といふ名がつけられたもので、札幌における収穫期は九月下旬です。

新品種の紹介

レッドパートレット

本種は、米国のワシントン州ジラノマックスレッド氏によりパートレットの枝変わりとして発見されました。



(大久保)

価格は 一本 二百五十五円

見され、在来の梨とは全然異なり全面真赤に色づきます。北海道においても納内の仲野連吉氏により既に試作が行われ、良好な成績を上げております。弊社でも本秋より育苗いたしております。何卒早目にお申し込み下さい。なお数量に制限ありますので、品切れも生じますので、あらかじめご諒承下さるようお願いいたします。

布目早生

愛知県の布目清氏が作出され、昭和二年に品種登録された品種で収穫期は頗る早い。果実は余り大きさではなく四〇~四五匁程度、収量は

中位。品質は極早生のものとしては、優良だが、肉質は軟かく、荷傷みしやすく長途の輸送に耐えないので市場の近郊で栽培されるべき品種です。

倉方早生

東京都倉方英藏氏の作出に依るもので、昭和二六年に登録されたものです。

花粉が余りないので授粉樹を必要とします。

収穫期は布目早生よりは遅れ岡山早生と同時位で果実の大きさは四五~五〇匁程度です。果肉は堅く日持良く輸送に耐えます。品質は優良で甘味の多い品種で、今後大いに期待出来る品種です。

大 久 保

岡山県の大久保氏の育成した品種で、全国的に栽培され、現在北海道においても各所で栽培されています。本種は豊産にして果実の外観も良く離核性の甘味の強い品種です。

白 凤

本種は、神奈川県農試で育成され大変甘味の強い品種で、早生の桃が終りこの桃が出るよう

桃の縮葉病について

この病気の伝染経路は、芽や枝の表面に病原菌が附着して越冬いたします。

防除法としては、春早い内にクロトン。

一%加用石灰硫黃合剤三〇倍液を丁寧に撒布する事です。又催芽前に石灰硫黃合剤の七倍液を撒布しても良い。

クロトンを加用する時は、クロトン液に硫黄合剤を加えて下さい。

近年桃の増殖も大変ふえて参りました。生果の需要は勿論のこと、加工用としても伸びつ有ります。

最近では、北海道のような寒いところで自家用として販売用として栽培する方がふえてきました。販売用としては道南の一部を除いては無理かと存じますが、適切な品種を選定して風当たり弱いところに植え付ければ楽しみが一つふえるわけです。

今秋は、新しく倉方早生、布目早生等の農林省登録品種も発売いたします。以下簡単に桃の品種について御説明いたします。

になると始め桃らしい桃が出たという感じを賞味する者に与えます。

果実の大きさは平均四五~五〇匁で大変結果力が強く、結果させ過ぎると小玉になります。北海道においても最近この品種が植えられて参りました。

☆梅

わが国においては、古くから愛好されてきた果樹です。この果実は梅干として誰でも口にして来たものです。寒さに対しても相当強く、北海道においても、杏との雑種ではないかといわれております。豊後梅が大変良く育ちます。この種類は寒さに強く且つ又果実も大きく自家用としては最適です。更に漬梅用としては白加賀をおすすめいたします。本種は前者より耐寒力はやや劣りますが、品質はきわめて良く風土を選ぶ事が少く最も一般的な経済的優良種です。北海道では道南以外は少々無理かと思ひます。樹勢は強健で不完全花の生成も少ないので年々豊産です。果実も大きく、関東東北方面の方々に大いにおすすめできるものです。

